



報道機関各位

「グルカゴン点鼻薬の学校での投与に関する指示書」テンプレート
日本小児・思春期糖尿病学会／日本小児内分泌学会／
JADEC（日本糖尿病協会）の3団体で制作

2024年11月14日

日本小児・思春期糖尿病学会（所在地：京都市／理事長 菊池透）、一般社団法人日本小児内分泌学会（所在地：京都市／理事長 長谷川奉延）、JADEC（公益社団法人日本糖尿病協会 所在地：東京都千代田区／理事長 清野裕）の3団体は、学校や幼稚園・保育園での教職員による糖尿病のある子どもへのグルカゴン点鼻粉末薬の使用について、主治医が教職員に薬剤の投与を依頼する「指示書」のテンプレートを作成し、ホームページで公開しました。

■「指示書」テンプレート作成の背景

2024年1月25日付で、こども家庭庁・文部科学省（以下、当局）より各県教育委員会・保育施設・学校関連等宛に「学校等における重症の低血糖発作時のグルカゴン点鼻粉末剤（バクスマー®）投与について」が通達されました。

本通達に伴い家族以外でも園・学校関係者によるグルカゴン点鼻粉末剤の使用が可能となりましたが、当局より「具体的に依頼（グルカゴン点鼻粉末剤の使用の際の留意事項に関する書面を医師から学校に渡して説明しておくこと等を含む）していること」との条件が示されました。

このため、各自治体や医師が独自で書面作成し運用していますが、一部の地域では書面作成の遅延や、教育委員会・園・学校等との書面内容のすり合わせの難渋により、本薬剤使用に関して円滑に園・学校現場で運用できていないとの意見が寄せられました。このため日本小児・思春期糖尿病学会、日本小児内分泌学会、JADEC（日本糖尿病協会）の3団体が協同して「学校等への提出書類」のひな型を作成することとなりました。

■「指示書」テンプレートの特徴

学校や地域の実情に合わせて、3種類の書式を用意しました。

- ・書式A（通称：簡略版 A4用紙1枚）要点を簡潔に記載するもの
- ・書式B（通称：詳細版 A4用紙2枚）当局からの通達に順じ、詳細に記載するもの
- ・書式C（通称：包括版 A4用紙1枚）糖尿病のある子どもが園や学校生活を送る際に留意したい内容をグルカゴン点鼻粉末剤使用も含めて全般的に記載するもの

PRESS RELEASE

テンプレートの利用にあたり、3団体への申請は不要で、どなたでも無料で使用可能です。また、このテンプレートの使用を強制・推奨するものではなく、現状で円滑に運用されていない地域、医師、園や学校等で活用いただくことを想定しています。

■「指示書」テンプレート作成にあたり

日本小児・思春期糖尿病学会、日本小児内分泌学会、JADEC（日本糖尿病協会）は、糖尿病のある子どもの健やかな成長を支援するため、今回のテンプレート作成を行いました。

インスリン治療が必須の1型糖尿病は、小児期発症の割合が高く、インスリン投与量の調整は必ずしも容易でないため、ときに低血糖を引き起こしてしまいます。

グルカゴン点鼻粉末剤は、使用方法が簡便で非医療者でも安全で扱いやすいデバイスで、本製剤の使用により、重症低血糖へ速やかな対応が可能となり、糖尿病の子どもたちがより安全に家庭外での生活を送れることが期待できます。また保護者にとっても、学校等で重症低血糖を起こしてしまった際の不安を大きく軽減できます。

3団体は、研究、教育、啓発活動を通じて、今後も糖尿病のある子どもが安心して治療を継続できる環境づくりに注力して参ります。

<参考情報>

[【事務連絡】学校等における重症の低血糖発作時のグルカゴン点鼻粉末剤（バクスミー）投与について](#)（2024年1月25日 文部科学省 HP）

日本小児・思春期糖尿病学会

<https://jspad.jp/>

一般社団法人日本小児内分泌学会

<http://jspe.umin.jp/>

JADEC（公益社団法人日本糖尿病協会）

<https://www.nittokyo.or.jp/>



（参考図）バクスミー®点鼻粉末剤使用手順

◇本件に関するお問い合わせ◇

JADEC（公益社団法人日本糖尿病協会） 担当：堀田

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-2-4 8F

TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725

E-mail : hotta@nittokyo.or.jp